

こう じょ
公助
県民の命と
財産を守る

きょう じょ
共助
地域みんな
で助け合う

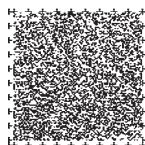


暮らしの安心・安全を守る
「タスケ三兄弟」

じ じょ
自助
自らの身は
自ら守る

ぼう ざい
防災
げん ざい
減災
そ び
備えんさい!

広島県では、平成21年3月に「**広島県防災対策基本条例**」
を制定し社会全体で、防災対策に取り組んでいます。



「広島県防災対策基本条例」の概要

自然災害発生時の被害を最小限に抑えるためには、県民、事業者、自主防災組織、災害ボランティア、県、市町の各主体がそれぞれの役割を果たすとともに、お互いに協力することが大切です。この条例では、自らの身を守る「自助」、地域で助け合う「共助」、県・市町が行う「公助」の役割分担と連携を進め、社会全体で防災対策に取り組むことにより、想定される被害を「減災」していく「防災協働社会」の実現を目指します。

自助



「自らの命は自分で守る」という自覚に根ざした災害への備えや災害発生時の的確な行動

共助



身近な地域コミュニティにおける自主防災組織の取組や災害ボランティアの活動

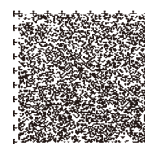
社会全体で減災に取り組む
「防災協働社会」の実現

公助



- 発災時に迅速・的確に対応しうる防災・危機管理体制の強化など行政が行うべき防災対策の着実な推進
- 自助、共助による取組みの促進

条例では、平成11年の豪雨災害が発生した6月29日を「ひろしま防災の日」、6月を「ひろしま防災月間」と定めて、防災意識を高め、災害への備えを進める取り組みを行っていくことにしています。



じ じょ 自 助

個人では

普段から意識して、災害に備えましょう。



一人ひとりが防災意識を高め、正しい知識を身に付けておくことが大切です。生活物資の備蓄や住宅の耐震改修、避難場所や家族との連絡方法の確認など、日ごろからの心掛けと備えが災害から身を守る第一歩になります。

災害に対する事前の備え

- 自然災害の特徴や発生時に取るべき行動など、正しい知識の習得に努めましょう。
- 地域の防災活動に積極的に参加するよう努めましょう。
- 食料、飲料水などの生活物資の備蓄やラジオ、消火器などの準備に努めましょう。
- 建築物の耐震診断・改修や、家具などの転倒防止対策の実施に努めましょう。



災害時には

- 災害に関する情報に注意し、避難勧告などが発令されたときに限らず、自ら必要と判断したときは、速やかに避難するよう努めましょう。
- 災害発生時の交通規制を守るとともに、消防や救急などの活動の妨げとならないよう車両の使用の自粛に努めましょう。



災害発生後の復旧・復興

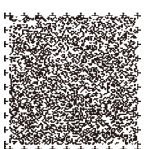
- 自主防災組織や災害ボランティアなどと協働して、自らの生活再建や地域社会の再生に努めましょう。
- 廃棄物の発生抑制に努めましょう。



ご存知ですか？

阪神・淡路大震災の際、倒壊した建物の下敷きとなった方々について、自力又は家族、近隣住民により救助された割合が9割を超えるというデータがあります。

災害から命を守るためには、「自助」・「共助」の速やかな対応が不可欠です。



きょう じょ 共 助

地域では

「助け合い」で地域の安全を守りましょう。



災害時は個人だけでは十分な対応ができません。地域が一致団結して、助け合うことが大切です。住民が協力して防災活動を行う自主防災組織などの活動の広がりが期待されています。

自主防災組織のみなさん

災害に対する事前の備え

- 地域で避難に必要な情報の共有や訓練を行うよう努めましょう。
- 高齢者など災害時に支援が必要な人を把握しておくよう努めましょう。
- 避難勧告などが発令された場合の役割分担を決めておくよう努めましょう。
- 応急的な消火や救助に必要なものを準備・確認しておくよう努めましょう。



災害時には

- 市町、民生委員児童委員などと連携して、住民の安否確認や避難誘導などを行うよう努めましょう。



災害発生後の復旧・復興

- 地域における復旧・復興対策の実施に協力するよう努めましょう。



災害ボランティアのみなさん

災害時には

- 被災地で求められる被災者の生活支援に努めましょう。

災害発生後の復旧・復興

- 被災者のニーズに応じた生活再建への支援に努めましょう。



事業者のみなさん

災害に対する事前の備え

- 来所者、従業員及び周辺地域住民の安全確保、事業継続に必要な計画の作成や体制の整備に努めましょう。
- 防災に関する訓練、研修の実施や地域で行われる訓練などへの参加に努めましょう。

災害時には

- 来所者等の安全確保や帰宅困難者への支援などに努めましょう。

災害発生後の復旧・復興

- 事業の早期再開により、地域経済の復興に貢献するよう努めましょう。
- ライフライン関連事業者のみなさんは、施設等の速やかな復旧に努めましょう。

こう じょ 公 助

県・市町では

住民を守る体制を整えています。



県や市町では、「自助」・「共助」の取り組みのサポートや防災のための施設の整備を行っています。

災害発生時に迅速・的確に対応できる、避難・救助・医療などの体制強化を推進し、被害の軽減に努めています。

災害に対する事前の備え

- 防災意識の啓発や防災知識の普及に努めます。
- 住民の適切な避難実施に必要な情報の提供に努めます。
- 避難・救助・医療の体制強化や災害時に必要な物資、資機材の確保に努めます。
- 災害に迅速・的確に対処できるよう訓練などを行います。
- 公共施設の耐震化や防災のための施設の整備に努めます。



災害時には

- 災害に関する情報をいち早く提供します。
- 避難・救助・医療などの災害応急対策を迅速・的確に実施するよう努めます。



災害発生後の復旧・復興

被災者の生活再建や地域経済復興のための対策を円滑に実施するよう努めます。



備えて安心 みんなで防災

「県民総ぐるみでの防災」への
取り組みを広めていきましょう！



地震 台風 大雨 ...

災害はいつでもどこでも起こりうるものです。

地震 ～ 年々高まる大規模地震発生の可能性

大規模な地震は、いつでもどこでも起きる可能性があり、広島県もその例外ではありません。今後、発生が懸念される南海トラフを震源とする地震(注)や活断層を震源とする地震が発生した場合には、県内でも多くの死者や負傷者ができると予想されています。

(注)文部科学省の地震調査研究推進本部は、南海トラフを震源とするマグニチュード8～9クラスの地震が今後30年以内に発生する確率は、70%程度と評価しています。

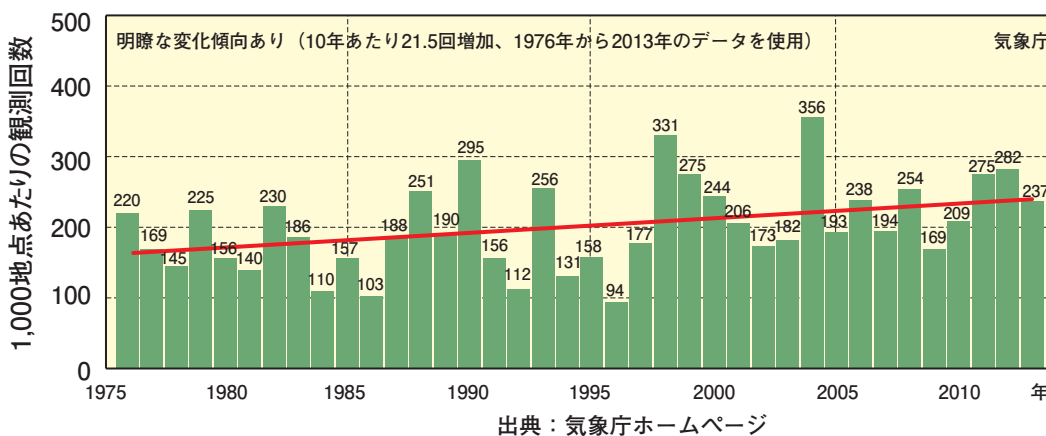
想定地震	地震タイプ	気象庁マグニチュード M	今後30年以内の発生確率	想定される被害		
				死者数	負傷者数	建物被害(全壊)
1) 南海トラフ巨大地震	プレート間	9.0	—	14,759人	22,220人	69,210棟
2) 日向灘及び南西諸島海溝周辺(安芸灘～伊予灘～豊後水道)による地震	プレート内	7.4	40%	11,206人	20,691人	29,012棟
3) 中央構造線断層帯(讃岐山脈南縁-石鎚山脈北縁東部)による地震	地殻内	8.0	0%～0.3%	2,013人	6,002人	7,689棟
4) 中央構造線断層帯(石鎚山脈北縁)による地震	地殻内	8.0	0%～0.3%	0人	36人	1,693棟
5) 中央構造線断層帯(石鎚山脈北縁西部-伊予灘)による地震	地殻内	8.0	0%～0.3%	192人	470人	3,002棟
6) 五日市断層帯(五日市断層)による地震	地殻内	7.0	不明	179人	4,552人	6,820棟
7) 五日市断層帯(己斐-広島西縁断層帯)による地震	地殻内	6.5	不明	249人	5,302人	7,612棟
8) 岩国断層帯による地震	地殻内	7.6	0.03%～2%	72人	1,073人	4,498棟
9) 安芸灘断層群(主部)による地震	地殻内	7.0	0.1%～10%	43人	230人	2,987棟
10) 安芸灘断層群(広島湾-岩国沖断層帯)による地震	地殻内	7.4	不明	3,495人	5,692人	8,335棟
11) 長者ヶ原断層帯(長者ヶ原断層-芳井断層)による地震	地殻内	7.4	—	2,840人	22,170人	46,629棟

出展：広島県地震被害想定調査報告書 平成 25 年 10 月

風水害 ～ 大雨が長期的に増す傾向に

局地的な大雨が同じ場所で続くと、土砂災害や家屋浸水等による重大な災害に至る可能性があります。特に、全国で最も多くの土砂災害危険箇所を抱える広島県は、大きな被害が予想される土砂崩れへの注意が必要です。

[アメダス] 1時間降水量50ミリ以上の年間観測回数



お問い合わせ先

広島県危機管理監危機管理課

〒730-8511 広島市中区基町10-52

電話 082-513-2784 fax 082-227-2122

広島県防災 Web URL <http://www.bousai.pref.hiroshima.jp/hdis/>

